

令和4年度決算概要

実質収支は、**21億9,022万円の黒字**となりました。

歳入総額①294億9,723万円から歳出総額②271億2,753万円を差し引くと、23億6,970万円（形式収支③）になります。

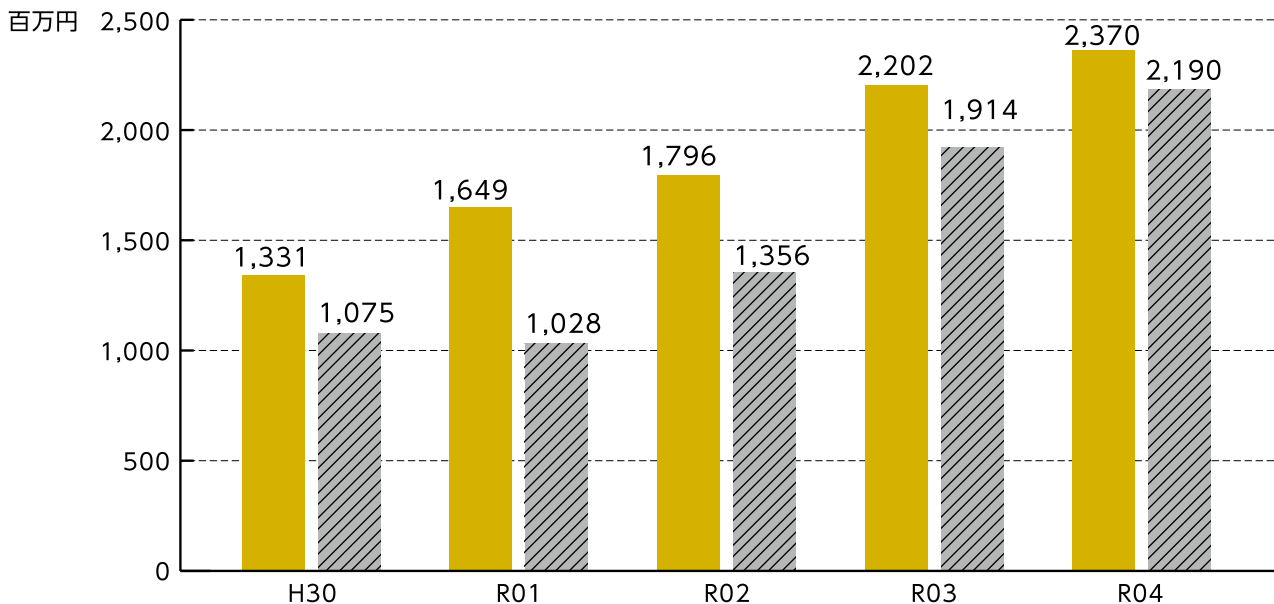
ここから、令和4年度末までに完了しないで令和5年度へ繰り越した事業に充てなければならない財源である④1億7,948万円を差し引くと、最終的に実質収支⑤として21億9,022万円が残りました。残ったお金は令和5年度の財源とします。

歳入総額	①	294億9,723万円
歳出総額	②	271億2,753万円
形式収支(①-②)	③	23億6,970万円
翌年度へ繰り越す財源	④	1億7,948万円
実質収支(③-④)	⑤	21億9,022万円

一般会計決算収支の推移

過去5年間の決算収支の推移は、下のグラフのとおりです。

■ 形式収支 ▨ 実質収支



財政の健全度

令和4年度決算に基づく財政健全化判断比率は、いずれも国の示す基準を下回っており、財政の健全度を維持しています。

実質公債費比率は、市の財政規模に対して返済した借入金の割合で、前年度に比べ、0.4ポイント増加しました。

将来負担比率は、市の財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合で、前年度より7.1ポイント減少しました。

今後も、学校、橋りょうなどの公共施設の老朽化等に対応し、長寿命化を図るとともに、人口減少や高齢化に伴う税収の減少を見据え、長期的な視点に立った財政運営を行います。

財政健全化判断比率	令和3年度	令和4年度
実質赤字比率	黒字	黒字
連結実質赤字比率	黒字	黒字
実質公債費比率	11.1%	11.5%
将来負担比率	72.3%	65.2%
資金不足比率	該当なし	該当なし